

作成日 2008年10月1日

作成者 東 見司

確認日 2008年10月31日

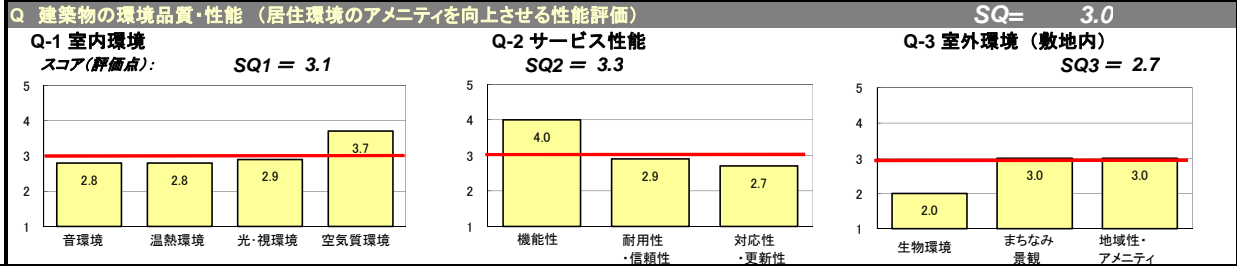
確認者 金谷 明

(1) 建物概要

建物名称	(仮称)嵯峨新宮町計画	敷地面積	2,299 m <sup>2</sup>	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	集合住宅	建築面積	1,219 m <sup>2</sup>	
建設地	京都市右京区嵯峨新宮町43番1他	延床面積	4,684 m <sup>2</sup>	
気候区分	地域区分IV	階数	地上5F	
地域・地区	第1種中高層住居専用地域、第2種	構造	鉄筋コンクリート造	
竣工年	2010年3月 予定	平均居住人員	158 人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

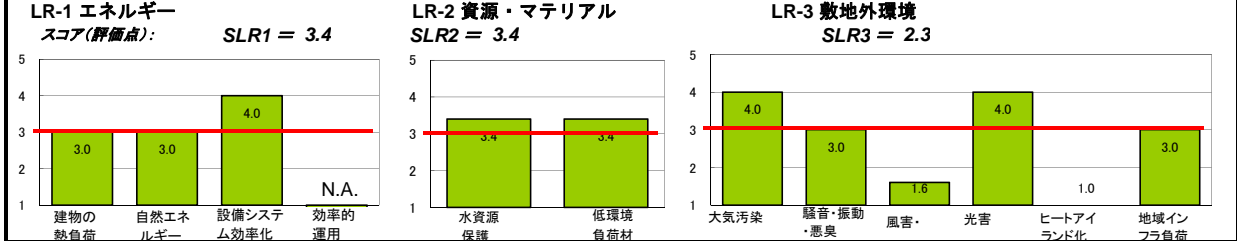
(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1



LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 3.1

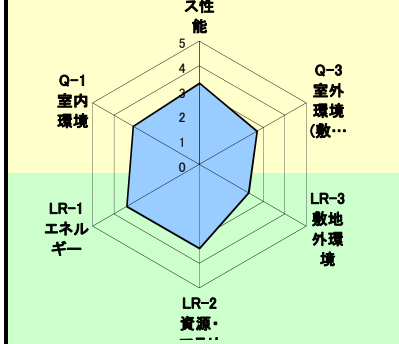


(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

(2-3) 環境性能効率

BEE

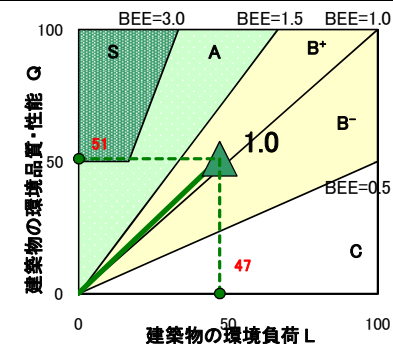
注2



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{51.0}{47.2} = 1.0$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3-1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

< 実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入 >

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	%
運用エネルギー消費量	MJ/年m <sup>2</sup>	MJ/人時	MJ/年m <sup>2</sup>			
運用CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>			
水消費量	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup> /人時	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>			
LCCO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>			
LC廃棄物量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	t/年m <sup>2</sup>			
LC資源消費量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	t/年m <sup>2</sup>			

(3-2) デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例  
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category  
 注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。  
 注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。  
 Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。  
 注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。

BEE: Building Environmental Efficiency